

11 専門職員研修



玉取地区より宝鏡山を望む

添付資料 :平成12年度、平成11年度専門職員研修日程表

関東・甲信越地区技術専門職員研修（電気電子コース）終えて

測定器第三課データ処理技術第二係長 村上 武

上記研修が平成12年9月11日～9月14日（4日間）千葉大学・東京農工大学で開催されたので、その報告及び感想を述べる。

初日は各コース全員（90名）が会場の千葉大学で開講式。電気電子コース研修受講者は30名でKEKからは4名参加した。開講式に遅れないようにと近くに宿泊して式に臨んだ。更に年に数回しか身に付けられないネクタイに上着をはおった。講義は文部省からこられた方々の話で、公務員倫理規定から独立行政法人化更に大学改革まで話が多岐にわたっていた。

2日目からは会場が東京農工大学になり、講義内容も電気・電子となり熱心に講義が受けられた。教室での講義だけでなく、施設見学（日立製作所・中央研究所／郵政省・通信総合研究所）があり大変に有意義であった。

研修の目的である”専門知識、技術の取得...”が自分なりに達成されたと思われる。これは何についても言えることなのだが、ただ漠然と講義を受けるのではなく目的意識をもつことにより研修が有効に働くとと思われる。

最後に今回の会場がつくばからは遠いので、結局4泊5日コースとなり、個人負担が多かった。次回からは会場の宿泊施設を利用出来るように望みたい。

平成12年度
関東・甲信越地区国立学校等技術専門職員研修
研修資料 (電気電子コース)

期 日 平成12年 9月 11日 (月)
~ 9月 14日 (木)

千 葉 大 学
東 京 農 業 大 学

平成12年度関東・甲信越地区国立学校等技術専門職員研修（電気電子コース）日程表

於：千葉大学(9/11)・東京農工大学(9/12～14)

| | 9月11日(月) | 9月12日(火) | 9月13日(水) | 9月14日(木) |
|-------|--|--|--|--|
| 9:00 | | | | |
| 20 | 受付 | 講義： 「21世紀のエネ ルギー」 | 先輩講話： 「教育研究支援体 制の役割」 | 講義： 「光通信技術」 |
| 10:00 | オリエンテーション 開講式 記念撮影 | 東京農工大学 工学部教授 黒川浩助 | 東京農工大学 技術専門官 武川征弘 | 東京農工大学 工学部教授 黒川隆志 |
| 10:20 | 千葉大学事務局長挨拶 | 休 憩 | 休 憩 | 休 憩 |
| 30 | | | | |
| 11:00 | 講義： 「大学行政上の諸問題」 文部省高等教育局 学生課専門官 齋藤 久 | 講義： 「パワーシステムと知識 工学」 東京農工大学 大学院工学研究科 助教授 ケルマンジャビ・ハフマン | 講義： 「学生にとっての 電気電子」 東京農工大学 工学部助教授 上野智雄 | 講義： 「無線通信」 東京農工大学 工学部教授 鈴木康夫 |
| 12:00 | 休 憩 | 休 憩 | 休 憩 | 休 憩 |
| 13:00 | 講義： 「人事行政上の諸問題 (安全管理を含む)」 文部省大臣官房人事課 審査班主査 松本次好 | 施設見学： ㈱日立製作所 中央研究所 | 講義： 「電子デバイス研究 の現状」 東京農工大学 工学部助教授 鮫島俊之 | 技術情報交換会 |
| 14:00 | 休 憩 | | | |
| 15 | 講義： 「人事実務上の課題」 文部省大臣官房人事課 審査班審査第一係長 海老沼正男 | 郵政省 通信総合研究所 | 休 憩 | 閉 講 式 |
| 15:00 | 休 憩 | | | |
| 15 | | | | |
| 30 | 講話： 千葉大学工学部教授 山口正恒 | | 講義： 「人体の医用X線 像の画像処理」 東京農工大学 生物システム応用科学 研究科助教授 清水昭伸 | 解 散 |
| 16:00 | (自由討議) | | | |
| 30 | | | | |
| 17:00 | 懇 親 会 (17:00～18:00) 千葉大学 [けやき会館レブションホール] | | | |

※ 会場は、千葉大学けやき会館大ホール及び東京農工大学生物システム応用科学研究科1階会議室。

※都合により日程の一部を変更する場合があります。

平成12年度
関東・甲信越地区国立学校等技術専門職員研修
研修資料 (物理・化学コース)

期 日 平成12年 9月 11日 (月)
~ 9月 14日 (木)

千 葉 大 学
東 京 農 業 大 学

平成12年度関東・甲信越地区国立学校等技術専門職員研修（物理・化学コース）日程表

於：千葉大学

| | 9月11日(月) | 9月12日(火) | 9月13日(水) | 9月14日(木) |
|-------|---|--|---|---|
| 9:00 | 受付 | 講義 「身の回りにおける 分子の化学」 千葉大学理学部 化学科 教授 金子克美 | 先驅講話 「教育研究支援体制 の役割」 千葉大学医学部附属病院 技術専門官 石井久允 | 講義 「原子核と元素合成」 千葉大学理学部 物理学科 教授 小川建吾 |
| 9:20 | | | | |
| 10:00 | オリエンテーション 開講式 記念撮影 | | | |
| 20 | 千葉大学事務局長挨拶 | 休憩 | | |
| 30 | | | | |
| 11:00 | 講義 「大学行政上の諸問題」 文部省高等教育局 学生課専門官 齋藤久 | 講義 「高融点云物質と 低融点云物質」 千葉大学理学部 物理学科 教授 桑沢好則 | 講義 「環状開環型 有機合成」 千葉大学理学部 化学科 教授 今本恒雄 | 講義 「環状反応における 分析化学の役割」 千葉大学理学部 化学科 教授 中川良三 |
| 12:00 | 休憩 | | | |
| 13:00 | 講義 「人事行政上の諸問題 (安全管理を含む)」 文部省大臣官房人事課 審査班主査 松本次好 | 移動 | 講義・実験実習(物理) | 講義 「天体活動現象の物理学」 千葉大学理学部 物理学科 教授 松元亮治 |
| 14:00 | 休憩 | 施設見学 東葛テクノプラザ (財)千葉県工業技術 振興センター | 千葉大学理学部 物理学科 助教授 河合秀幸 | 理学部 |
| 15:00 | 講義 「人事実務上の諸問題」 文部省大臣官房人事課 審査班審査第一係長 海老沼正男 | | | |
| 15:00 | 休憩 | | | |
| 16:00 | 講話 千葉大学工学部 教授 山口正恒 | | | 閉講式 [けやき会館 1Fホール] 解散 |
| 30 | (自由時間) | | | |
| 17:00 | 懇親会 (17:00~18:00) 千葉大学 [けやき会館 1Fホール] | | | |

※ 都合により日程の一部を変更する場合があります。

平成11年度 関東・甲信越地区国立学校等技術専門職員研修を受講して
(情報処理コース)

計算機課計算機第1係長 押久保智子

平成11年度から文部省主催による国立学校地区技術専門職員研修が実施されることになり、第1回研修の情報処理コースを受講できる機会を得た。その研修の概要と感想を簡単に記す。

平成11年度の研修は7月27日から30日の4日間に渡って、筑波大学と東京医科歯科大学を会場として機械、情報処理、生物の3コースが開催され、情報処理コースは全日程筑波大で実施された。詳細日程は別紙の通りである。1日目は全コースの受講者が一同に会し、本省職員による行政上の事柄に関する3講義と、「20世紀の科学技術の発達」と題した、筑波大岩崎先生の特別講義を受講する。2日目から4日目はそれぞれの会場、コースに分かれて専門的講義と実習を受けた。

情報処理コースは「21世紀に向けたソフトウェア技術の展望：インタラクティブシステム」という主旨で、Java言語の紹介とプログラミングを主に、WEBページの作成、HTMLとサーチエンジンについてワークステーションをひとりに1台ずつ与えられ、実習を主体に進められた。私にとってWebページの作成やHTMLのサーチエンジンに関しては、既に業務で行っていたり聞きかじっていた事柄なので知識を補足する気持ちで受講できた。しかし、関心はあったが触れるのは初めてであったJava言語に関しては楽しくもあり、苦難でもあった。プログラミングしたゲームプログラムは決められた実習時間内には動かさず四苦八苦したが、実習室を夜まで開放して下さったため何とか完成させることができた。

施設見学は工業技術院電子技術総合研究所の分散作業支援システムや知能システム部のロボットの説明をして頂き、私の日常業務とは全く異なった情報処理の分野に触れることができ、有意義な時間であった。

また、十数人に分かれての技術情報交換会は、全員が話す機会があり大変活発に情報交換ができ、今後のためにも大いに役立つ交換の場となった。

文部省研修として初めての開催であったため、開催校にあたった大学で研修を担当して下さった教官や技官の方々は試行錯誤され、実習内容からして準備に大変なご苦労があったことだろうと推測する。一方、専門職員研修と称しての同世代の職員を対象に、業務経歴や前提条件も問わずに開催した研修内容には多少疑問も残った。研修受講の希望を募る前に、特に講義内容等を細かく提示した上で受講者を募るべきだと思う。私にとっては技術習得の一助となり研修の意味も多岐にあったが、JavaやWEBもマスターしている人にとっては物足りなく感じた研修だったことだろうし、UNIXを利用したことの無い方にとっては、ワークステーション上でのプログラミングの実習は、たいへん負担なものであったようだ。しかし、この件は交換会でも話題になり、次回以降の研修に生かされるだろうと思う。

最後に、この機会を与えて下さった方々に感謝の意を表す。

平成 11 年度 技術専門職員研修に参加して

技術部加速器第一課 小田切淳一

当該研修に参加してから既に 2 年の月日を経てもいるため、ほとんどは記憶の彼方である。ただ 1 つ覚えていることは、この研修に参加した目当てが Java の入門コースであったこと、そして実際、そこで始めて Java のプログラミングを経験したことである。

プログラミングとはいっても既に例題が存在し、そこに多少の修正を加える程度のものであったと記憶している。その例題は、狭い枠の中の小さなロボットをマウスで追いかけて捕まえる、というアプレットであった。つまらないことではあるが、マウスで追いかけると、ずっと逃げるロボットの動きが妙にかわいらしかったことを覚えている。肝心の Java については、いくつかの中心的概念を理解はできたものの、実際のプログラミングを覚えるまでには至らなかった。その後、個人的にいくつか書籍を購入して勉強したが、これまでのところ実際に仕事で使う機会はない。ただ、Java を使った経験は、その後、同様のオブジェクト指向の言語である C++ で書かれたコードを扱う際に多少なりとも役に立ったように思う。

平成11年度
関東・甲信越地区国立学校等技術専門職員研修
研修資料(情報処理コース)

期 日 平成11年7月27日(火)
~ 7月30日(金)

筑 波 大 学
東京医科歯科大学

国立学校等地區別技術専門職員研修実施要項

平成11年2月4日
大臣官房人事課長裁定

1 主 旨

この要項は、国立学校等地區別技術専門職員研修の実施に関して、基本的事項について定めるものとする。

2 この研修は、国立学校等の技術専門職員及び技術専門職員相当の職にある者に対して、その職務遂行に必要な基本的、一般的知識及び新たな専門知識、技術等を修得させ、職員としての資質の向上を図ることを目的とする。

3 研修の主催及び実施地区

(1) この研修は、次の地区ごとに文部省及び各地区国立学校等の共催により実施する。

ア 北海道地区 イ 東北地区 ウ 関東・甲信越地区
エ 東海・北陸地区 オ 近畿地区 カ 中国・四国地区
キ 九州地区

(2) 研修の実施に関する事務を処理するため、各地区において当番機関を定めるものとする。

4 実施回数及び期間

研修は各地区年1回、4日間標準として実施するものとする。

5 研修内容

研修は、原則として 機械、電気電子、情報処理、物理・科学、生物・生命科学、土木・建築の6分野に応じたコースを設け、毎年、この中の3コースずつを(隔年で)開催する。

研修には必ず、ア大学行政上の諸問題、イ学術研究の振興と国際交流、ウ職場の安全管理、エ技術職員の役割(先輩講話)を入れる。必要に応じ共同利用機関等の協力を得る。

6 受講者

(1) 受講者は、原則として次の各号に該当するもので各機関から推薦され、各地区の当番機関が認めたとする。

ア 各機関の技術専門職員または技術専門職員相当の職にある者。
イ 勤務成績が優秀な者。

(2) 受講者数は、原則として各コース30名、計90名とし各機関別の受講者数は、当番機関が決める。

7 修了証書の交付及び人事記録への記載

研修の終了した者は、別紙1に定める修了証書を交付し、人事記録に記載するものとする。

8 研修の経費

この研修に要する費用は、文部省及び各地区国立学校等の負担とする。

9 この要項に定めるもののほか、研修の実施に関して必要な事項は、当番機関の長が大臣官房人事課長と協議して定めるものとする。

なお、当番校の発案で研修内容、方法を変更する場合も同様とする。

附則 この要項は平成11年度の研修から実施する。

平成11年度関東・甲信越地区国立学校等技術専門職員研修(情報処理コース)日程表
於:筑波大学

| | | 7月27日(火) | 7月28日(水) | 7月29日(木) | 7月30日(金) |
|-------|--|------------------------|--|------------------------------|--|
| 9:00 | | | | | |
| 20 | 受付 | | | | |
| 10:00 | オリエンテーション 開講式 記念撮影 | 大学会館国際会議室 | 講義・実習: 「インターネットと Java」 | 講義・実習: 「Java」 | 講義・実習: 「自然言語とインタ ーネット」 |
| 20 | 事務局長挨拶 | | 筑波大学野・堀江系 教授 | 筑波大学野・堀江系 教授 | 筑波大学野・堀江系 助教授 |
| 30 | 講義: 「人事行政上の諸問 題」 | | 田中 二郎 | 田中 二郎 | 山本 幹雄 |
| 11:00 | 文部省大臣官房 人事課審査班 福祉班 専門職員 齋藤 晶子 野中 香 | | L棟 307 セミナー 室・C棟 205 計算機 室 | 11:00頃～20分内 川上氏 石原の事例 | L棟 307 セミナー 室・C棟 205 計算機 室 |
| 12:00 | 昼食 | 昼食 | 昼食 | 昼食 | 昼食 |
| 13:00 | 講義: 「学術研究の振興と 国際交流」 | 大学会館国際会議室 | 先輩講話: 「情報技術の発展」 筑波大学野・堀江系 技術専門職員 鈴木 秀則 | | 技術情報交換会 |
| 14:00 | 文部省学術国際局 研究機関課課長補佐 木村 直樹 | | 移動 | 講義・実習: 「HTMLとサーチ エンジン」 | L棟 307 セミナー 室・C棟 205 計算機 室 |
| 20 | 休憩 | | 施設見学 | 筑波大学野・堀江系 講師 | 閉講式 |
| 15:00 | 講義:20世紀の科学技術 「特別講話」 筑波大評長(院長) 岩崎 洋一 | 工業技術院 電子技術総合 研究所 | 石川 佳治 | 解散 | L棟 307 セミナー 室・C棟 205 計算機 室 |
| 16:00 | 45 休憩 | | | | |
| 17:00 | 講義: 「人事実務上の課題」 文部省大臣官房 人事課審査第二係長 矢崎 雅之 | | | | |
| 20 | 懇親会 (筑波大レストラン) | | | | |

- ※1. C棟及びL棟は、いずれも第三学群の各棟である。
2. 都合により日程の一部を変更する場合があります。
3. 講義・実習のなかでは、本学技術職員による「技術発表」を行う予定です。

文部省専門職員研修に参加して

工作課工作第六係長 齊藤信二

筑波大学で開催される技術専門職員研修にあたり 4日間の日程表を見て研修内容が非常に高度な講義なので不安であったが振り返ってみると興味深く、意義ある4日間であった。

参加者との交流、親睦ができたことも一つである。講義を担当された講師の方々、並びにプログラムを作成された大学関係者の方々に厚く感謝を述べたいと思う

日程

- 1日目 文部省関係の講義
- 2日目 進展する智能ロボット・マイクロマシンについての講義
施設見学 (機械研 宇宙センター)
- 3日目 宇宙工学・先輩講話・工作実習 (NC旋盤など)
- 4日目 環境に優しいエネルギー・これからの機械についての講義

技術専門職員研修に参加して

工作課工作第四係長 安島泰雄

2年前の研修の感想を書いているが、4日間の内容を思い出すにも苦労している。

関東・甲信越地区国立学校等技術専門職員研修

研修日程 :平成 11年 7月 27日 ~ 7月 30日

場 所 : 筑波大学 機械コース

行政問題に始まり先端技術 (ロボット、マイクロマシン)、宇宙工学、環境とエネルギー、これからの機械工学 (国際化)、先輩講話、施設見学、機械工作実習等の講義、体験等で、一般的知識、および専門的知識、技術を習得する機会に参加できたことは、有意義なことであったと思っている。

ただ、実習の4時間で習得できたものは何かと疑問に思っている。実習の代わりに民間企業への訪問、国際化への取り組み等、公務員とは違った見方の意見を見聴きする機会を取り入れてはどうかと思った。

また、技術専門職員研修と言う性格上のせいかわ、だいぶ年配の方が参加されていたが、これからは係長昇格時または、4級昇進時にこのような研修を受けるのも良いのではないかと思った。最後に、講師、大学関係者の方々に厚く感謝を述べたいと思う

平成11年度
関東・甲信越地区国立学校等技術専門職員研修
研修資料(機械コース)

期 日 平成11年7月27日(火)
~ 7月30日(金)

筑 波 大 学
東京医科歯科大学

平成11年度関東・甲信越地区国立学校等技術専門職員研修（機械コース）日程表

於：筑波大学

| | 7月27日(火) | 7月28日(水) | 7月29日(木) | 7月30日(金) |
|-------|--|---|--|--|
| 9:00 | | | | |
| 20 | 受付 | 講義： 延 展する知能 「二足歩行ロボット」 工業技術院 機械技術研究所 ロボット工学部長 谷江 和雄 | 先輩講話： 「教育研究支援体制 の役割」 筑波大学勤労副学部長 技術専門官 齋藤 静夫 | 講義： 「環境にやさしいエ ネルギー」 筑波大学機能工学系 助教授 石田 政義 |
| 10:00 | オリエンテーション 開講式 記念撮影 | 工業技術院 機械技術研究所 ロボット工学部長 谷江 和雄 | 筑波大学勤労副学部長 技術専門官 齋藤 静夫 | 筑波大学機能工学系 助教授 石田 政義 |
| 20 | 事務局長挨拶 | | | |
| 30 | 講義： 「人事行政上の諸問 題」 文部省大臣官房 人事課審査班 審査班長 審査班長 野中 | 講義： 「マイクロマシン」 工業技術院 機械技術研究所 微小機構研究室長 田中 誠 | 講義： 「宇宙工学」 筑波大学機能工学系 教授 村上 正秀 | 講義・実体験： 「仮想現実（VR） の話と実体験」 筑波大学機能工学系 助教授 岩田 洋夫 |
| 11:00 | | | | |
| 12:00 | 昼食 | 昼食 | 昼食 | 昼食 |
| 13:00 | 講義： 「学術研究の振興と 国際交流」 文部省学術国際局 研究機関課課長補佐 木村 直樹 | 移 動 施設見学 工業技術院 機械技術研究所 | 講義・実習： 「機械工作」 筑波大学機能工学系 助教授 京藤 康正 | 講義： 「これからの機械工 学」 筑波大学機能工学系 教授 成合 英樹 |
| 14:00 | 休憩 | …… 宇宙開発事業団 筑波宇宙センター | | B 棟 3 1 1 会議室・ 工作セ ンター |
| 15:00 | 講義： 「特別講話」 副学部長(兼務) 岩崎 洋一 | | | 解散 |
| 45 | 休憩 | | | |
| 16:00 | 講義： 「人事実務上の課題」 文部省大臣官房 人事課審査第二係長 矢崎 雅之 | | | |
| 17:00 | | | | |
| 20 | 懇親会 (筑波大学レストラン) | | | |

※ 都合により日程の一部を変更する場合があります。